

2003.7.9

「澤井河川塾」近畿通信 Vol. 33
(NPO法人近畿水の塾ホームページ)

////////////////////////////////////
もうすぐ暑~い夏!ですね
////////////////////////////////////

【河川塾NEWS】

久しぶりの梅雨らしい今年の梅雨も折り返しに入ったこの7月、大阪は蒸し暑い日が続いていますが、みなさま、いかが涼をとってらっしゃいますか。

暑い暑いと言っている内に夏祭り真っ盛りのシーズンでもあります。夜店のあの明るさと、人・人・人の声にフラリとつられて出かけてしまうのですね。今年もまた夜店の中を徘徊して、暑くて短い夏を楽しみます。

さて、近畿水の塾では、平成14年度事業報告も終え、間もなく1周年を迎えようとしています。最近では「澤井河川塾」勉強会も満員御礼が続き、嬉しい悲鳴を上げている状況です。

2年目は、今までとちょっと違った観点でのお題も候補に挙がっています。はてさて、一体どんな活動になるのか・・・皆さん一緒に歩を進めていきましょう。

【前回河川塾の内容】

「第30回澤井河川塾」

日時：6月18日(水) 19:00~

場所：センター(いつもの6F会議室)

出席：濱、富田、辰谷、橋本、角野、樋口、福廣、西河、白木茂、白木江都子、遠藤、
正岡、澤井、佐藤勝紀、米花、南、佐藤拓二、佐藤侑美 計18名

内 容 : 「水辺空間と人の関わり」
京都造形芸術大学 学生チームの木津川精華町での調査発表会

【パネラー】京都造形芸術大学 下村専任講師、学生の福島さん・福留さん・岡田さん・増田さん・野村さん・永留さん

1. 調査発表会
「木津川・煤谷川沿川における水辺空間と人の関わり、その変遷を探る」
2. 意見交換会
調査を通して感じた事・変わったことは？

・・・近畿水の塾HP

<http://www.geocities.jp/mizunojuku/katudouhoukoku/katudouhoukokuTop.html>
澤井河川塾通信 Vol.033 添付の Pdf. ファイルをご覧ください。

[記録担当：摂南大学 富田&濱]

【次回の予告】

次回、「澤井河川塾」のご案内です。

第31回「澤井河川塾」

日時：7月16日(水) 19:00～21:00
・・・毎月、第3水曜日の開催です！！

集合：センター（いつもの6F会議室）

内容：「近木川 自然再生事業」
大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取組み方

参加申込：近畿水の塾 西河（FAX:072-235-2006
E-mail: ssirobb@yahoo.co.jp）まで7/15(火)締切

そして、「澤井河川塾 フィールドワーク」のご案内です。

「澤井河川塾 フィールドワーク」

日時：7月21日(祝) 11:00～16:00
・・・京都造形芸術大学 木津川チームのフィールドです！！

集 合 : 近鉄狛田駅北改札前 午前11時(各自お弁当持参をお願いします)

内 容 : 「木津川 水辺空間と人の関わり」
京都造形芸術大学 木津川チームの取組み

参加申込: 近畿水の塾 西河 (FAX:072-235-2006

E-mail: ssirobb@yahoo.co.jp) まで7/18(金)締切

【マイリバー/川びと】第2回

前回から始まりました川のリレーエッセイ。

第2回目は近畿水の塾のホームページ作成を担当して頂いている安田博之さんです。

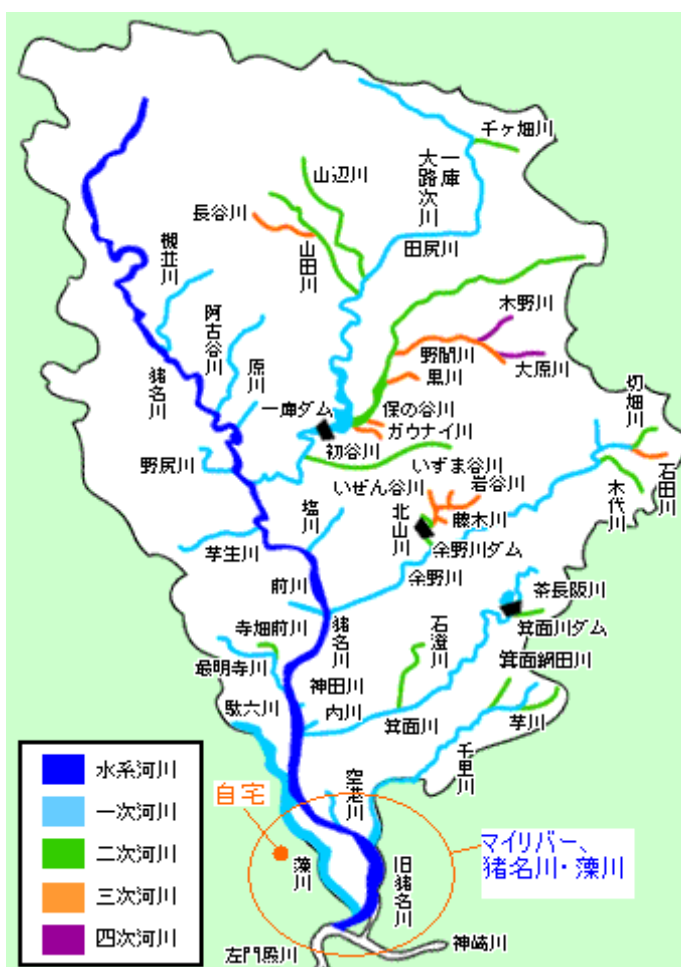
マイリバーの紹介 (安田博之)

私のマイリバーは、猪名川・藻川(淀川水系)です。

私は、猪名川・藻川がすぐそばを流れる尼崎市食満(けま)で生まれ育ちました。現在も実家のすぐ近くに住んでいます。

猪名川は尼崎市と伊丹市の境界付近で、猪名川本流(東)と藻川(西)に分流し、数キロ下流で再び合流します。分流点から少し下流には弥生時代の遺跡で有名な田能遺跡があります。さらにその下流には住民運動がきっかけで残った猪名川自然林があります。昭和40年代の河道ショートカット工事の際、旧河道と河畔林を残す住民運動が起きました。残された猪名川自然林(都市公園等として位置づけ)は、今では都市に残された貴重な自然として市民に親しまれています。

私の実家は猪名川と藻川から水を引き、代々農業を営んできました。元文5年(1



740年)の三ツ又井組(猪名川水系の井組のひとつ)の水論の際、下流9ヶ村の連名で井堰のある上流の田能村を奉行所に訴えています。その訴状の中に、私の先祖が原告の中食満村代表として名前が出ています。猪名川と藻川の分流点において、流量が一定しなかったのも、長い間、水争いが繰り返されたそうです。

ちょうど今の時期、たんぼに入る水を見るとご先祖さんは、たいへん水で苦労したのだなとしみじみ思います。現在は、区画整理され水路もきれいな(?)三面貼コンクリートになり、水の確保には困りません。

私自身の関わりと申しますと、猪名川・藻川は小さい頃からの遊び場ではありましたが、残念ながら水に入って遊んだことはありません。子ども時代の昭和40年~50年代、猪名川・藻川はすでにひどく汚染されていました。私の父親が子供の頃(昭和20年代まで)は、流れはとてもきれいで、泳いだり魚をとったり、河畔林ではカブトムシを捕まえて遊んだと聞いています。もちろん蛸もたくさんいたそうです。この一世代でよくもここまで変わったものだと思います。

その他、猪名川の最上流付近にある里山(猪名川町)で里山保全活動をしている市民団体「あまがさき山仕事体験隊」に参加しています。

10年近く前から近畿水の塾などで水環境に関する市民活動のお手伝いをしてきましたが、この4月から仕事でも川に関わるようになりました。現在、市内の河川・水路の改修や管理などを担当しています。なお、所属している課の課長は昔、よく水争いをした田能村の人ですが、もちろん仲良く、河川・水路を守る仕事をしています。

今後、農業を継ぐ(兼業)ことになると思いますが、公私共々ますます川や水環境に関わっていくようになると思います。(2003.7.3) 地図は猪名川河川事務所HPより(参考)

「あまがさき山仕事体験隊」<http://www.eva.hi-ho.ne.jp/h-yasuda/>

「国土交通省猪名川河川事務所」<http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/>

さあ、今回のリレーエッセイは誰につながるのでしょうか。どうぞお楽しみに。

【川の情報ボックス】

イベント情報 1 (近畿水の塾会員 澤井さんが主催側として参加されます)

“活かそう水辺、つなごう流れ”

大和川・淀川流域連携水環境交流会2003

趣 旨 近年、水辺の保全と活用を通じて、流域内あるいは流域間の連携を深め、活性化を図ろうという動きが全国的に広まっていますが、他のいくつかの地域に比べて、近畿地方での活動はまだ十分に連携できていない感がぬぐえません。そこで、「活かそう水辺、つなごう流れ」をキャッチフレーズとして、平成11年以來、毎年、淀川流域内で場所を変えながら、シンポジウムとEポート乗船からなる交流会開催してきました。

「活かそう水辺」は人々が水辺に近づき、活用するとともに水辺の自然や生き物に目を向け、その命を活かし続けることを願っています。「つなごう流れ」は上下流の連携はもちろん、世代間の連携、立場の異なる人々の連携、世代を超えた歴史・文化の継承を願っています。

日 程 平成15年8月2日(土)、3日(日)

場 所 講演・討論会：奈良県文化会館集会室(奈良市登大路町6-2)

水面利用実践：布目ダム桐山さざなみ広場(奈良県山添村)

施設・史跡見学：布目ダム説明ホール、ダム周辺石仏群

内 容 1日目(8月2日(土))

13:30～ 受付開始

14:00～17:00 講演・討論会(奈良県文化会館小ホール)

挨拶 澤井健二(実行委員長)、大川靖則(奈良市長)

基調講演 「奈良盆地の河川と歴史」

講師 近江昌司(天理大学名誉教授・天理参考館副館長)

パネルインタビュー 「大和川・淀川流域における流域間交流の現状と課題」

コーディネーター 澤井健二(摂南大学教授・淀川愛好会)

パネラー 近江昌司(天理大学名誉教授・天理参考館副館長)

川上 聡(三重大学非常勤講師・川の会名張)

竹島 睦(奈良県河川課長)

古川 博一(水資源開発公団関西支社長)

17:30～19:00 交流懇親会(奈良県文化会館集会室)

2日目（8月3日（日））

8：30～ 受付開始

9：00～ 9：30 湖辺清掃

9：30～ 15：00 望ましい水面利用の実践

挨拶 澤井健二（実行委員長）、北出清（山添村村長）

新企画！！君は布目ダムで何を見つける？？

（各ボート毎に課題があり、課題の達成度で表彰を行います。課題：水深調査・ゴミ拾い・水質調査・写真撮影・・・何が当たるかは当日のお楽しみ！！）

Eボートレース

昼食・休憩は適宜各自でお願いします

15：00～ 16：00 施設・史跡見学、布目ダム周辺石仏群、布目ダム説明ホール

悪天候の場合は、施設見学を午前中に繰り上げ、午後も回復しない場合は、公民館内で、水質分析・生物観察・ボートの組み立て・水難救助訓練等を行います。

| | | | |
|-----|------|--------------------|--------|
| 参加費 | 第1日目 | 交流懇親会（希望者のみ） | 3,000円 |
| | 第2日目 | 水辺行事参加費（保険代含む（全員）） | 1,000円 |
| | | 弁当代（希望者のみ） | 1,000円 |

会費は、当日受付にて徴収させていただきます。

締切り 平成15年7月20日（日）

問合先 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

摂南大学工学部 都市環境システム工学科 澤井教授室内

大和川・淀川流域連携水環境交流会2003 実行委員会事務局

TEL&FAX 072-89-9124 携帯電話 090-2196-9594

E-MAIL sawai@civ.setsunan.ac.jp

申込書・詳細案内

<http://www.geocities.jp./mizunojuku/eventjouhou/yamatoyodogawa2003.pdf>

【事務局より】

来月 8 日で N P O 法人 近畿水の塾は設立 1 周年を迎えます！！

設立間もない頃は、ホームページを立ち上げたものの、検索エンジンに掛からずに「??」状態で年内を過ごしたのですが、今ではちゃんと「近畿水の塾」でピックアップされるのですから、嬉しい限りです。(ホームページ担当の安田さんは随分心配されていたことだと思います)

先月の澤井河川塾も、京都造形芸術大学 学生の皆さんがパネラーに来てくださり、いつもと違うフレッシュな雰囲気の中で勉強できた気がします。

満員の教室(?)の中で、私たちも久々の学生気分を味わいました。

若いっていいなあー・・・なんて言わずに、それなりにぼちぼち頑張ろうー、って気持ちです。

これからの河川塾が楽しみです。